

2026年度 和泉短期大学 シラバス【児童福祉学科】

授業科目名	子どもの健康と安全		教員氏名	八代陽子	
科目ナンバー	Ⅲ-6-1-6				
学年	2年		開講学期	前期	
授業形態	演習		単位数	1単位	
必修・選択	保育士必修		実務経験	看護師	10年
テーマ	ガイドラインやデータ等を踏まえ、子どもの発達や状態等に即した適切な対応、事故防止、安全管理について学ぶ				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	子どもの生命を守り心身の健康増進を図る保健活動は重要性である。本科目では、ガイドラインやデータ等を踏まえ、子どもの発達や状態等に即した適切な対応、事故防止、安全管理について学ぶ。具体的には、看護師として病院に勤務した実務経験に基づく事例・実践と、ガイドライン等を参考に、赤ちゃん人形を用いたロールプレイ、グループワークを通して子どもの発達や状態等に即した適切な対応、事故防止、安全管理について学ぶ。 授業内容により、衛生、安全に配慮した服装や、身だしなみを指示する。怠った場合は衛生、安全の観点から授業への出席が認められない場合がある。				
授業の到達目標	1. 子どもの体調不良等に対する適切な対応について具体的に挙げることができる。 2. 保育における感染症対策について実施できる。 3. 保育における事故防止、安全管理について討議できる。				
テキスト	鈴木美枝子『これだけはおさえたい！保育者のための「子どもの健康と安全」[改訂二版]創成社2024				
参考書	保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(-googleクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
その他: 特になし					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験・筆記試験	40	筆記試験		
	授業内課題・発表等	50	授業内課題		
	参加度・学習態度等	10	授業への取り組み姿勢		
その他	0	特になし			
再試験	行う	行なわない場合の理由			

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	・授業内容と評価方法の確認 ・感染予防と対策① 感染の原理原則・病原体・予防接種・感染症	
	授業外学習	(予習)シラバスを読む。 テキスト「感染症の対策」「保育所における感染症ガイドライン」と「予防接種」対応箇所を読み 事前学習をする (復習)提示された課題に取り組む	55分
第2回	テーマ 内容	・感染予防と対策②事例から考える感染症発生時の対応(麻疹・インフルエンザ) ・子どもの健康状態の把握と適切な対応 ・家庭、専門機関、地域の関係機関との連携	
	授業外学習	(予習)保育所における感染症ガイドラインと、テキスト「体調不良や障害が発生した場合の対 応・家庭、専門機関、地域の関係機関との連携」対応箇所を読み事前学習をするについて事前 学習する (復習)配布資料を復習する	55分
第3回	テーマ 内容	・感染予防と対策③事例から考える感染症発生時の対応(ノロウイルス) ・嘔吐物処理演習	
	授業外学習	(予習)テキスト「嘔吐物処理の対応箇所を読み事前学習をする (復習)配布資料を復習する	55分
第4回	テーマ 内容	子どもの生活に対する援助 ・乳児の日常生活援助(排泄・衣服着脱・抱っこ・おんぶ) ・「沐浴」援助技術	
	授業外学習	(予習)テキスト「沐浴」を中心に「排泄・衣服着脱・抱っこ・おんぶ」対応箇所を読み事前学習を する (復習)提示された課題に取り組む	55分
第5回	テーマ 内容	身体計測	
	授業外学習	(予習)テキスト「身体計測」対応箇所を読み事前学習をする (復習)配布資料を復習する	55分
第6回	テーマ 内容	清潔にかかわる日常生活援助(手・顔・口腔・耳鼻)	
	授業外学習	(予習)テキスト「歯磨き・うがい・手洗い・耳鼻のケア」対応箇所を読み事前学習をするについて 事前学習する (復習)配布資料を復習する	55分
第7回	テーマ 内容	災害への備え ・映像を題材とした災害対策・危機管理 ・職員間の連携・協働と組織的取り組み ・保育における保健活動の計画及び評価	
	授業外学習	(予習)テキスト「災害対策」「危機管理」「職員間の連携・協働と組織的取り組み」「保育におけ る保健活動の計画及び評価」の「対応箇所を読み事前学習をする (復習)配布資料の復習をする	55分
第8回	テーマ 内容	応急手当	
	授業外学習	(予習)テキスト「応急手当」対応箇所を読み事前学習をする (復習)配布資料の復習をする	55分
第9回	テーマ 内容	事後防止・安全管理・危機管理 ・事故防止及び安全管理 ・危機管理	
	授業外学習	(予習)「事後防止・安全管理・危機管理」対応箇所を読み事前学習をする (復習)配布資料の復習をする	55分

第10回	テーマ 内容	個別的配慮が必要な子どもへの対応・与薬・薬法	
	授業外学習	(予習)テキスト「個別的配慮が必要な子どもへの対応」の箇所を読み事前学習をする (復習)提示された課題に取り組む	55分
第11回	テーマ 内容	一次救命処置①	
	授業外学習	(予習)テキスト「一時救命処置」対応箇所を読み事前学習をする (復習)配布資料の復習をする	55分
第12回	テーマ 内容	一次救命処置②	
	授業外学習	(予習)テキスト「一時救命処置」対応箇所を読み事前学習をする (復習)配布資料の復習をする	55分
第13回	テーマ 内容	学びの振り返り	
	授業外学習	(予習)これまでの授業に使用した配付資料・テキストを読み事前学習をする (復習)授業内で使用した課題・配布資料を整理して綴じる	55分

課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポート・質問は、次回授業時に口頭やプリントにてフィードバックする

2026年度 和泉短期大学 シラバス【児童福祉学科】

授業科目名 科目ナンバー	子どもの健康と安全 Ⅲ-6-1-6		教員氏名	星 早織		
学年	2年		開講学期	前期		
授業形態	演習		単位数	1単位		
必修・選択	保育士必修		実務経験	保育士	12年	
テーマ	保健的観点に基づく保育の環境整備や健康・安全管理の実施体制など、より実践的な力を身に付ける					
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○	
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				
授業の概要	<p>集団保育において保育者に求められる子どもの怪我や疾病、感染症等への適切な対応や事故防止、安全管理について学ぶ。また、赤ちゃん人形を用いた保育体験やロールプレイ等の演習授業を通して現場に即した実践力を身に着ける。担当教員がもつ保育所保育士としての実務経験に基づく例を示しながら、保育における養護技術や健康安全管理等について演習を中心に授業を展開する。 (授業内容により、衛生、安全に配慮した服装や、身だしなみを指示する。怠った場合は衛生、安全の観点から授業への出席が認められない場合がある。)</p>					
授業の 到達目標	<p>1.保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解し論じることができる</p> <p>2.関連ガイドラインや近年のデータ等に基づき、子どもの体調不良や緊急時の状況に即した適切な対応について学び、実施できる</p> <p>3.子どもの保健及び安全の管理に関わる組織的取り組みや、保健活動の計画及び評価について理解し応用できる</p>					
テキスト	これだけはおさえたい！保育者のための「子どもの健康と安全」[改訂第二版] 鈴木美枝子編著 創成社					
参考書	「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」フレーベル館					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○	
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○	
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める					
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○	
その他:						
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験・ 筆記試験	40	授業内で行う達成度確認テスト			
	授業内課題 ・発表等	20	保健だより作成に向けたレポートおよび発表			
	参加度・ 学修態度等	40	演習授業への参加意欲と態度、ワークシート、リアクションペーパー等			
その他						
再試験	行う	行なわない 場合の 理由				

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	授業内容と評価方法の確認 保育環境における事故防止及び安全対策、危機管理、災害への備え	
	授業外学習	<予習>シラバスを読む、保育所における感染症ガイドラインについて事前学習を行う <復習>提示された課題に取り組む	55分
第2回	テーマ 内容	子どもの感染症対策 感染症の感染発生時と罹患後の対応 麻疹、インフルエンザ、COVID-19	
	授業外学習	<予習>教科書、参考資料を読み、重要事項に下線を引く <復習>Googleclassroomに提示された課題に取り組む	55分
第3回	テーマ 内容	健康及び安全の管理の実施体制①保育における保健活動の計画及び評価 保健だより作成	
	授業外学習	<予習>教科書、参考資料を読み、重要事項に下線を引く <復習>保健だよりの作成を行い、Googleclassroomに提出する	55分
第4回	テーマ 内容	健康及び安全管理の実施体制②保育における保健活動の計画及び評価 発育発達と身体測定 講義及び演習	
	授業外学習	<予習>身体測定を実際行えるよう事前学習を行う (復習)授業内容を振り返り、まとめる	55分
第5回	テーマ 内容	保育における保健的対応①基本的考え方 講義:沐浴等	
	授業外学習	<予習>教科書、参考資料を読み、重要事項に下線を引く <復習>提示された課題に取り組む	55分
第6回	テーマ 内容	保育における保健的対応②3歳未満児への対応 演習:衣類着脱、おむつ交換、沐浴	
	授業外学習	<予習>演習内容を実際行えるように授業内容を振り返っておく <復習>提示された課題に取り組む	55分
第7回	テーマ 内容	保育における保健的対応③個別の配慮を要する子どもへの対応 慢性疾患、食物アレルギー	
	授業外学習	<予習>教科書、参考資料を読み、重要事項に下線を引く <復習>提示された課題に取り組む	55分
第8回	テーマ 内容	子どもの体調不良等に対する適切な対応①応急手当	
	授業外学習	<予習>子どもの保健 I の授業で学んだ該当箇所について振り返っておく <復習>授業の内容を振り返り、まとめる	55分
第9回	テーマ 内容	子どもの体調不良等に対する適切な対応②-1救急処置及び救急蘇生法 演習:救急処置、救急蘇生法、気道異物	
	授業外学習	<予習>子どもの保健 I の授業で学んだ該当箇所について振り返っておく <復習>授業の内容を振り返り、まとめる	55分

第10回	テーマ 内容	子どもの体調不良等に対する適切な対応②-2救急処置及び救急蘇生法 演習:救急処置、救急蘇生法、気道異物	
	授業外学習	<予習>実習先などの保育環境や安全管理について振り返っておく <復習>授業の内容を振り返り、まとめる	55分
第11回	テーマ 内容	保育における健康及び安全の管理 衛生管理 演習:ノロウイルス、手洗い、エプロン・手袋着脱	
	授業外学習	<予習>ノロウイルス感染症対策の対応を実際に行えるように授業内容を振り返っておく <復習>授業内容を振り返り、まとめる	55分
第12回	テーマ 内容	保健的観点を踏まえた保育環境及び援助 個別対応と集団全体の健康及び完全の管理	
	授業外学習	<予習>教科書、参考資料を読み、重要事項に下線を引く <復習>授業内容を振り返り、まとめる	55分
第13回	テーマ 内容	本授業でのまとめ 達成度確認テスト	
	授業外学習	本授業で学んだことや学生自身の学びの確認をする	55分

課題に対するフィードバックの方法

- ・授業内容、課題などの質問については授業後、又はオフィスアワーにおいて対応する。
- ・提出された課題について、返却時に口頭やプリントにて取り組みの成果と今後の課題についてフィードバックを行う。